

令和 7 年度「星空の街・あおぞらの街」全国協議会表彰について

※【】内は推薦自治体名

団体賞 2 団体

・環境大臣賞：いすみ^{ほしぞらがっこう}星空学校【千葉県いすみ市】

令和元年の設立以来、いすみ市の素晴らしい星空を多くの方に知っていただくため、誰でも参加することのできる観望会をいすみ市と共催で偶数月に実施している。

奇数月には、子ども達に科学の楽しさや不思議に触れる機会を提供するため JAXA 宇宙教育センターコズミックカレッジの地域主催者として、宇宙教育にも力を入れている。

これからも星空に関する普及活動を継続的に実施していくための人材育成を目的として、星空案内人養成講座を年に一度開催し、既に 100 名を越す星のソムリエ®を養成しており、認定者は各地で星空を活用した街づくりを支援するための活動を行っている。

・協議会会長賞：新篠津村^{しんしのつむら}【北海道新篠津村】

北海道内一標高差が無い地形を活かした、包まれるような「空のまち」をテーマに街づくりを行う。夏は気球体験等できる「青空まつり」、冬は全道最多の打上ランタンが空に舞う「天灯（ランタン）祭り」を開催。また村内には「グライダー滑空場」、「星座観測場」があり、さらに令和 5 年には全道初のフルオープン式「しんしのつ天文台」が完成。光環境の向上を図るため、住民の理解を得て街灯に消点灯可能なスイッチを取付けし、天文台開館時は消灯しているほか、周辺の企業・団体も天文台開館時には敷地内電灯を消灯するなど、良好な星空観測環境の構築と光害の低減を進めている。

個人賞 2 個人

・環境大臣賞：細川^{ほそかわ} 威典^{たけのり}氏【徳島県】

長年の教職員生活を通じて、勤務校を拠点に地域内外を問わず天体観望会を開催し、地域の子どもたちや住民に星空や大気環境（光害など）に関する啓発活動を行ってきた。また、学校天文台建設に尽力するなど、地域の天文教育の基盤づくりや、徳島の美しい星空の魅力、自然環境の大切さを広く発信し続け、地域の環境保全意識醸成に寄与している。

徳島県中学校理科教育研究会においては、天体観察や大気環境への興味・関心を高める教材や資料の開発、活用に携わるほか、天文学習の推進と理科教員の育成にも尽力している。

・協議会会長賞：穂積^{ほづみ} 正人^{まさひと}氏【兵庫県神戸市】

勤務校の天文気象部顧問として研究活動や観望会などの地域貢献活動を行っており、令和 3 年 4 月には卒業生を中心に「舞子天文同好会」を立ち上げた。活躍の場を学校周辺から兵庫県全域に広げ、星空の見える環境づくりや、そのための大気環境保全、光害の防止の意識啓発に貢献している。

平成 30 年より J A X A 宇宙教育リーダーとして、モデルロケットの打ち上げから地球環境を見守る「陸域観測技術衛星だいち」「気象衛星ひまわり」「準天頂衛星システムみちびき」の重要性を説明するなどの「宇宙教育」活動を通じ、子どもたちをはじめ広い世代に地球環境保全意識を醸成している。